

こんな学校でありたい

～ 人権が尊重される環境と教師のあり方 ～



平成24年3月

茨城県教育研究会 人権教育研究部



人権意識を高める学校環境

人権コーナー

命を大切に



大切な命を守るために、交通安全のルールや自転車の乗り方などを掲示しています。
交通安全ルールのアンケート調査結果もグラフで示して、児童生徒の意識づけを図っています。

個人目標を大切に



お互いを認め合い所属感を高めるために、一人一人の目標を掲示しています。

案内板の活用



「いじめ防止」や「元気なあいさつ」などを呼びかけるために、わかりやすい絵を入れた案内板を活用しています。

一人一人を大切にしたい学級環境

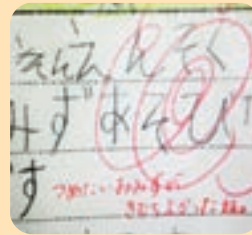
個々を大切に



個人目標や誕生日を
掲示し、所属感をもち
せています。



思いを大切に

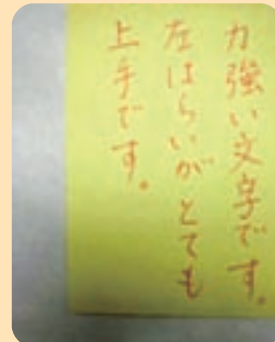


誤字脱字を訂正した
後で掲示し、児童生徒
一人一人に温かいコメ
ントを添えています。

作品を大切に

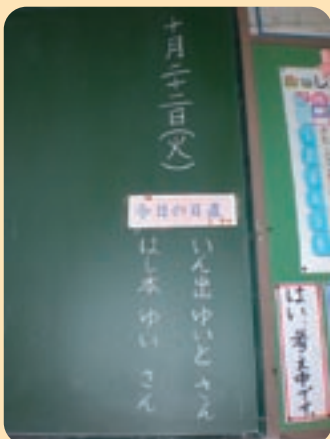


児童生徒の作品は、
ビニルシートに入れて
掲示しています。



教師からのコメ
ントは、付せんに
書いて一人一人の
作品に貼って掲示
しています。

一人一人の名前を大切に



黒板に書いた日直の名前には、
「さん」をつけています。

学年学級通信などでも児童生徒の
名前には「さん」をつけています。



こんな教師でありたい 《一日の流れ》

始業前

●余裕をもって



余裕をもって出勤することで、児童生徒を温かく迎えることができる。学級担任は、教室で一人一人を迎えるようにする。

『おはよう
ございます』は
朝一番の
贈り物



●率先して



率先して、明るい笑顔で元気にあいさつをする。

朝の会

●楽しい雰囲気づくり



児童生徒と一緒に大きな声で歌うことで、楽しい一日の出発ができるようにする。

●笑顔で健康観察



「さん」づけで呼名をしながら、一人一人の表情や声の大きさ、視線などから心身の健康状態を捉える。

授 業

●楽しい雰囲気づくり



一人一人に発言、発表の機会をつくり、頑張りや伸びをほめる。

●「教えて」と言える



何でも言える安心した雰囲気、「わからない、教えて」と素直に言える雰囲気をつくり、多様な考えを聴く姿勢をもつ。

●学び合いを通して



学び合いは聴き合い。互いの気持ちや考えを最後まで聴き、理解する。

人権教育の推進に当たり、日々の授業における活動の一つ一つが、人権尊重の雰囲気を醸成する上での重要な要素となる。

授業の実施に際し、教員は、児童生徒の感情や考えをあせらず、あわてず、最後まで聴く姿勢をもつとともに、児童生徒の言葉や行動の内容の是非を性急に判断するのではなく、その背後にある心情や意味を理解するよう心がける必要がある。

(人権教育の指導方法等の在り方について
〔第三次とりまとめ〕実践編より)

●誤答も生かして



誤答を大切にする習慣づくり。「誤答はみんなの宝」「教室はまちがう所」という意識づけをする。



互いのよさや
可能性を認め合う
学習活動!

給食

●一緒に準備を



教師も児童生徒と同じように身じたくをして配膳したり、片づけたりする。

●子どもと楽しく



会話を通して、お互いを理解する。

●先頭に立って



清掃を一緒に行うことで、愛校心や勤労意欲を育てる。

清掃

●感謝と賞賛の言葉を



清掃後、「ありがとう」と「ごくろうさま」の言葉をかける。

帰りの会

●認め賞賛する



一日を振り返り、頑張ったこと嬉しかったことなどを話題にする。明日への意欲づけになる。

下校指導

●命を守る



交通ルールや学区内危険箇所などを確認しながら一緒に歩く。

放課後・休日

●悩みや不安を聴く



教室に最後まで残って、気になる児童生徒に声をかけたり、相談に応じたりする。

●ともに活動する



部活動などを通して、児童生徒の気持ちや変容を感じ取り、自主的な活動を支援する。

**児童生徒に寄り添い
一緒に活動し
喜怒哀楽に共感しよう!**



平成23年度人権メッセージ最優秀賞

小学校 低学年部門

やさしいきもちふわふわいいきもち。
 こわいきもちピリピリいたい。
 たのしいきもちルンルンうれしい。
 くやしいきもちイライラかなしい。
 いろいろなきもちがある。いろいろなひとがいる。
 でも、わらっているかおが「ばんいいね」。
 みんなわらうとキラキラするよ。

古河市立古河第一小学校 1年 前田楽維さん

小学校 高学年部門

みんな知ってる？ふしぎなじゅもん。
 「ごめんね」けんかをして仲直りできるふしぎなじゅもん。
 「おはよう」朝起きて、楽しく一日がスタートできるふしぎなじゅもん。
 「ありがとう」助けてくれた時お礼の気持ちが伝えられるふしぎなじゅもん。
 「だいじょうぶ」相手の気持ちを思いやれるふしぎなじゅもん。
 ふしぎなじゅもん。それは人と人をつなぐ言葉。心と心をつなぐ言葉なんだ。

利根町立布川小学校 4年 丹 遥香さん

中学校部門

私はあいさつが好き。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」。
 それだけじゃない。「ありがとう」「ごめんね」も同じ。
 人の心をポカポカさせる愛のこもったメッセージ。
 このあたたかいポカポカをみんなにも伝えたいから、私はメッセージを送る。
 そして私からポカポカをもらった人が、また違う人にポカポカを伝えて、
 世界中のみんながポカポカしたらいいのにな。

古河市立古河第一中学校 2年 岡村 瞳さん

平成23年度 茨城県教育研究会 人権教育研究部 編集委員

氏 名		学 校 名	
部 長		櫻 井 康 雄	古河市立古河第三中学校
副 部 長	中央ブロック	磯 田 洋	大洗町立南中学校
	県北ブロック	小 林 正 治	高萩市立君田中学校
	県東ブロック	茂 木 悦 男	神栖市立土合小学校
	県南ブロック	寺 崎 勝 美	取手市立山王小学校
	県西ブロック	山 崎 正 夫	坂東市立岩井第一小学校
研究推進委員長		井 坂 庄 衛	つくば市立高山中学校
研究推進副委員長		海老原 治 夫	常総市立菅生小学校
研究推進委員	中央ブロック	石 本 美 香	笠間市立佐城小学校
	県北ブロック	瀧 野 恵 子	高萩市立松岡小学校
	県東ブロック	本 郷 学	鹿嶋市立大同東小学校
	県南ブロック	浅 野 恵 次	取手市立桜が丘小学校
	県西ブロック	倉 持 浩	坂東市立岩井中学校

表紙は、平成23年度茨城県人権啓発ポスターコンクール 最優秀グランプリ賞
 下妻市立東部中学校 1年 吉原桃花さんの作品です。